

ひとり ひとり ひかる

きぼう

2014 4/1
第76号

発行 : かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147

かしの木 ホームページ [http : www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



かしの木音楽会

「かしの木音楽会」が、平成26年2月11日（祝）尾西グリーンプラザにおいて、華やかに開催されました。今年も、「NPO 法人ぎふ音楽療法協会」の先生方をお招きして演奏していただきました。

今回は、地域の方々の参加も多く、かしの木の施設利用者も音楽をとおして楽しい地域交流が出来ました。

76号 きぼうの目次

- 表紙・写真・目次・・・・・・・・・・ P. 1
- かしの木の会コーナー①/研修委員会・・・・ P. 2
- かしの木の会コーナー②/イベント委員会・・ P. 3
- 地域コーナー①/新設グループホーム・・・・ P. 4
- 施設コーナー①/檜の木園・・・・・・・・ P. 5
- 施設コーナー②/さいた・・・・・・・・ P. 6
- 地域コーナー②/きーぷ・・・・・・・・ P. 7
- かしの木の会コーナー③/就労1年を振り返って・ P. 8
- かしの木の会コーナー④ /成人式を迎えて・・ P. 9
- 掲示板/ かしの木交流会・・・・・・・・ P. 10
- 文芸コーナー/・・・・・・・・ P. 11
- お知らせコーナー/予定など・・・・・・・・ P. 12

かしの木の会コーナー①

「安心して暮らせる社会を目指して」 講演会を聞いて

昨年11月18日南部公民館にて、「安心して暮らせる社会をめざして～親として今できること～」と題して一宮市障害者支援センターゆんたくの野崎貴詞さんにお話をお聞きしました。参加者は、会場一杯の46名で、皆さんの関心の高さを実感しました。



〈公演中の野崎さん〉

はじめに野崎さんから「どうすれば、お父さん・お母さん方の不安は解消されますか？」と問われ、「100%は無理かもしれないけれど、不安を減らすことは可能」だと言われました。

実際の事例から、ある利用者さんの父親が、親なき後を考え、成年後見に社会福祉士を選任、行政書士による遺言書作成などの準備を行っていた為、ご本人も混乱することが無かったケース。

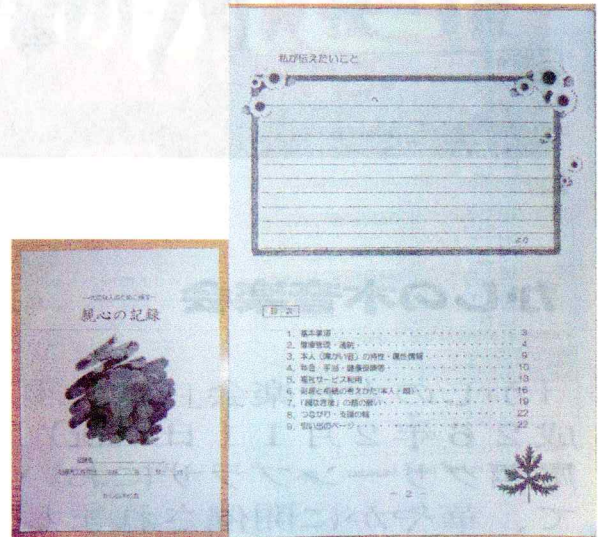
逆に何の準備も無く、ご両親が亡くなった場合は全く情報が無く、職員さんもご本人も、とても困ったケースがあったそうです。

成年後見・相談支援・サービス事業の3つが良い緊張関係を保ちつつ、本人の願いを尊重して地域生活を支えることが重要であること。また、権利侵害から暮らしを守る為に、ご本人が決めることが難しい時、共に考え、共に守る権利擁護についての話もされました。

最後に野崎さんは、今すぐできることとして、『親心の記録』をご提案されました。親心の記録とは、障がいのある子を持つ親が、子供の年金や福祉サービス、成年後見などの情報や、周囲へのお願いごと、親としての願いなどについて書き記すものです。親なき後に、大切な子供を託す親戚や成年後見人、何より日中活動や暮らしの場で毎日お世話になっている職員さんに対して『この子なりの幸せな人生を全うさせたい』という親の思いを伝える為にも、書けるところから記録していく必要があります。

「気持ちが落ち込まない様に、昼間に書くことをおすすめします」と、野崎さんはしめくられました。

研修委員会では、定例会の度に持ち寄り、皆で記入しています。わが子がより良い人生を送れるよう、今すぐ出来ることから、始めませんか？



〈親心の記録〉

〈親心の記録〉の冊子に関心がある方は、研修委員までお声かけください。

研修委員会 伊藤容子

かしの木の会コーナー②

「かしの木音楽会を終えて」

イベント委員会

2月11日(祝)、尾西グリーンプラザ・コンサートホールで、「かしの木音楽会2014みんなでつなごう心の絆」を開催いたしました。

今年度の音楽会は、岐阜県に活動拠点を置かれていらっしゃる『NPO法人ぎふ音楽療法協会』の先生方にお越しいただきました。入場者数は約250名を数え、会員の皆様だけでなく、多くの一般の方々にもお越しいただきました。



音楽会の内容は、かしの木福祉会の各事業所に事前にアンケートをとり、『ぎふ音楽療法協会』の先生方にリクエストをお伝えしていたため、馴染みの曲が多く、一般的なコンサートとは異なり、会場全体が一体感を味わえる参加型のとても楽しいコンサートになりました。

音楽会の様子を紹介しますと、季節にぴったりの「雪」という曲に合わせて、歌詞を歌うチーム、「コンコン」というチーム、「ズンズン」というチームで一斉に歌いました。どのチームもつられないように声を出し、笑顔が溢れていました。皆さんの大好きな「ヤングマン」では、ペットボトルのマラカスをもち、リズムを刻んだり、回したり、隣の方と合わせて音をだし、楽し

そうな姿が見られました。後半には、「トルコ行進曲」のピアノ演奏に合わせて、希望する皆さんが舞台上に上がり、いろいろな楽器を指揮者に合わせて演奏しました。舞台上の皆さんの顔はにこやかで、「楽しかった。」という感想も聞かれました。また「ビリーブ」では、素敵な歌声に合わせて、番号のついたベルを指示に合わせて振りました。ベルの音色がきれいで、会場が一体となり、感動的な演奏となりました。

休憩時間には、恒例のイベント委員によるジャンケンゲームを楽しんでいただき、ロビーでは、いちみんとの写真撮影や交流があり、また作業所の手作りクッキー、かしの木園の飲み物、わがんせのパン販売なども好評でした。

音楽会終了後、アンケートを50人の方から回収させていただきましたが、88%の方が「音楽会は、大変良かった。」と回答され、「心やすらぐ一時を過ごすことができ、満足でした。」「音楽を聞いて元気になりました。」「障がいがあっても、なくても、誰もが楽しめる音楽会でした。普段の生活の中でも、偏見などなく、誰もが安心して暮らせるようになると思っています。」などと感想をいただきました。

これも偏に、『NPO法人ぎふ音楽療法協会』の先生方をはじめ、ご来場の皆様、ボランティアの皆様のご尽力、ご協力の賜物と心からお礼を申し上げます。

来年も、皆様の参加したいとの声に支えられて、誰もがともに楽しめる音楽会を企画、運営していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

今回は、平成27年2月11日(祝)を予定しております。ぜひご参加ください。

イベント委員会 中村 直美

地域コーナー①

オリーブの家竣工

待望のホームが完成

檜の木福祉会では、26年4月にグループホームが開所することになりました。今度のホームの名称は「オリーブの家」といいます。

オリーブは、モクセイ科の常緑高木で、その枝は、ハトとともに『平和』の象徴です。利用を予定している男性5名の保護者の方が、平和に安定した生活が送れるようにこの「オリーブの家」という名称を考えられました。このホームは、平成25年度の国庫補助金の助成を受け、更に一宮市の施設整備費の助成を受けました。そして、祐久地域のご理解とご協力のもと、オリーブの家が完成しました。

新しい生活のスタート

今回、利用開始される方は、檜の木作業所や檜の木園で福祉的就労をしている方々です。お一人おひとりが、人生の中で親元を離れて暮らしたことがない方で、今年度から新しいマイホームで、家族とは違った利用者同士の生活を始めます。どの方にとっても新しい生活場面なので、慣れるまでに時間がかかる方がみえるかもしれませんし、気に入らずに落ち着かれる方もみえるかもしれません。また保護者の方も、『ゆっくりと本人のペースでスタートして下さい。』と言われる方や、『私、子離れできるかしら?』とさびしい表情をされる方もみえて・・・4月からいきなり、5名の方全員が利用というわけではありません。利用開始は、みな

さんのペースに合わせてのスタートとなると思います。また、ショートステイの開始も、様子を見ながらになっていきます。



〔 オリーブの家の外観 〕

これからの、ホームの整備

25年、一宮市祐久に「オリーブの家」を整備して、26年は「オリーブの家」のすぐ南に女子棟の計画があります。やはり、定員は、ケアホーム5名と、ショートステイ2名です。しかし、このように毎年グループホームの整備をすすめたところで、利用希望者のニーズに追いつきません。まだ、グループホームの利用希望をしている方が、何十人とみえます。新築整備に限らず、賃貸物件でのホーム整備等も並行して進めていかなくてはなりません。

整備する土地や、賃貸の物件探ただけが、グループホームの整備の課題ではありません。ホームを担当する支援員さんや世話人さんの確保が、今大きな課題となっています。

只井



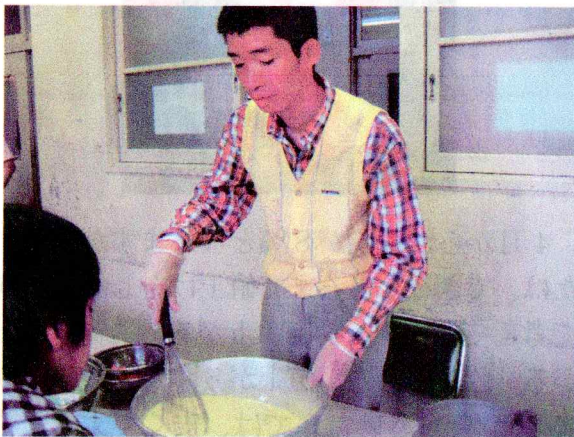
〈居室の様子〉

施設コーナー①

檜の木園

「CoCo 壺番屋」 お菓子作り

檜の木園は、月に1度「CoCo 壺番屋」さんからボランティアの方に来ていただき、お菓子作りを行っています。



目的としては、利用者の皆さんにお菓子作りを通して

- ① 「楽しみ」の持てる体験をしていただく、
- ② 地域のボランティアさんとお互いに交流を深めていく、
- ③ 生活技術や知識などを身に付けていただく機会とする、

という3つのことがあります。



メニューは、「CoCo 壺番屋」さんと檜の木園のスタッフでアイデアを出し合い、季節によって様々なものがあります。夏の暑い時

期だと、あんみつやフルーツポンチなど、冷たく食べやすいものであり、冬の寒い時期には、ホットプレートを活用し、ミニピザやベビーカステラなどを作ります。



また、メニューの食材を考える際には、利用者さんが少しでも多くの工程に参加できるように工夫しています。例えば、はさみや包丁で切りやすそうな、ウインナーやバナナといった比較的柔らかくて大きすぎない食材を選ぶようにしています。



利用者の皆さんは、毎月お菓子作りでどんなメニューが出てくるのか楽しみにされています。また、この活動に参加される利用者の皆さんは、新たに挑戦することも多く、時には難しい工程も「CoCo 壺番屋」さんのボランティアの方に手伝っていただき、皆で協力して取り組むことの楽しさも味わえていることと思います。

檜の木園 奥山 綾香

施設コーナー②

園芸センター

さいた (ステップ)

「さいた」が誕生してから5年、管轄が作業所からステップに替わって早3年が経ちました。管轄が替わっても『安くて丈夫な花』をお客様に提供する目的は変わっていません。常連のお客様から「この花は枯れないね、丈夫だね」などの定評をいただきうれしい限りです。市販の花苗は花が咲くまで温室で育てますが、さいたの花苗はある程度大きくなるとビニールハウスの外に出します。そのため他所の花苗より丈夫になると考えられます。特に秋冬の花は厳しい寒さに耐え、きれいな花を咲かせます。その姿を見ると癒されるものです。



現在「さいた」は7名の利用者と3名の職員、合計10名の人員がいます。職員と利用者が協力して花苗の生産や内職作業をしています。花苗の生産では、昨秋は昨年並みの生産をしましたが、予想以上に売れ行きが良く、フェスティバルやバザー、店舗でも品薄状態になってしまいました。内職作業では、野菜の袋詰めやDMの発送準備をしています。昨夏は、施設外就労で内職をいただいている事業所の畑の草取り作業を行いました。

作業の他に余暇活動をとときどき実施しています。季節の行事(初詣、節分、ひな祭り、七夕など)やドライブ、工場見学など利用者

の方が楽しめるような活動を行い、「労働」－「賃金」－「生活」の理解を深めていけるように努めています。また、何か新しい取り組みができないか利用者の方を交えて話し合いをしています。皆さんの意見をできるだけ取り入れるようにしています。



4月から消費税が8%となりますが、さいたは、できるところまで値上げをしない方向で考えています。物価は上がる、消費税も上がる。色んなものが値上がりする時代になりましたが、「さいた」では、安くて丈夫な花苗を一人でも多くのお客様に提供できるように努めていきたいと考えています。また、その一方で、利用者の方々へ多くの給料を支払うことを目標としています。お客様－利用者－事業所(支援員)の3者全てが笑顔になれることを強く願っています。



これからも、お客様に喜んでいただけるように職員・利用者が一丸となって花苗等の生産をしていきます。お客様からお寄せいただくご意見も可能な限り取り入れて永く愛されるように邁進していきます。

ステップ 伊藤 三郎

地域コーナー②



こんにちは『きーぷ』です

この仕事をさせて頂いていると、多くの嬉しいが体験できます。

外出の支援では、季節の色とりどりの風景、街でのなにげなく掛けられるやさしい声。

困難な支援では、一つ一つ乗り越えていく感覚。

日々の入浴介助では、「ふう〜っ。」と湯の気持ちよさに浸る表情、きれいになった部屋の空気、「今日は楽しかった♡」と言われる満面な笑顔。

まだまだ・・・沢山の嬉しいに出会えます。時には悲しい別れも、希望通りしてあげられない事もあります。躓くときは、思いつき躓いてから前を向いて立ちあがっていかなくてははいけません。日々毎日待っていてくれる方がいる間は・・・

4月から強度行動障がいの方の行動援護の仕組みが少し変更になりました。一宮市自立支援協議会のヘルパー連絡会で、変更になる仕組みや支援方法についての研修を開催し、一宮市の他のヘルパー事業所の皆さんで勉強していこうと企画しています。



(お出かけは楽しいですよ〜)

「最近増えてきたなあ〜。」と思う支援が、学校に行く事に躓いている子供さんの支援です。発達障がいの子供さん達が、何故?なぜ?と頭の中で葛藤している間に、どんどん

とストレスは迫ってきて自分で生きてく術を身につけていく(正しくない事もある)。そんな彼ら彼女達と出会い、支援していくと本当に心が洗われ、勉強(考える)することが多いです。机に向かってSSTみたいな事を伝えていくことも大切ですが、私達の仕事は地域へ外出支援することができます。勿論心を開いてくれるまでは、自宅で身体介護という形でコミュニケーションを図りませぬ。何の駆け引きも要りませぬ。なぜなら彼らはストレートなのです。つまらないものはつまらないのですから・・・試行錯誤しながら興味のひく会話をかわしながら距離感をつかんで行きます。

楽しい事、興味のある事からスタートして外出します。でも知らない間に必ず学習していきます。バスも店もいつも同じルートで歩いても同じ人達に会うわけではないし、意外にハプニングも起きるのです(バスが遅れたり、忘れ物したり、いつも買うものが売り切れだったり)。そして、回数を重ねる間に自信がついて確実に成長していきます。支援する側には、言葉使いもルールも正しく行う事が求められます。

出会って5年になるアスペルガーの彼が、私に「僕一人で、ロッテリアで注文もできるし、バスにも乗れるよ。でもね、これは山口さんが一諸にしてくれたからだよ〜。」なんて嬉しい言葉・・・ストレートだから言えるのですね。素直になることを教わりました。

福祉マップの店を一緒に周っているADHDの彼女は、

「山口さんの分もコーヒー代払うの?」

山口:「一応山口仕事で来てるから。」

彼女:「えーこれ仕事なの?いい仕事。」笑

山口:「将来ヘルパーさんになる?」

彼女:「なろうかな?これって運転免許いる?」

「楽しそうに思えたから〜。」って。・・・なんて嬉しい言葉でしょう。ヘルパー冥利につきます。

「これからも一緒に成長していけたらいいな。」と思います。



きーぷ・山口由美子

かしの木の会コーナー③

就労1年を振り返って

25年の4月からチャイブの「きらり」でお世話になっています浅野一義の母です。

療育サポートプラザ「チャイブ」は「おやまのカフェ」や「こまこま（駄菓子、雑貨店）」等もあり、いろいろな方が訪れる場所です。小さいお子様の中にはいらっしゃり、泣き声が苦手な一義が過ごすことができるだろうかと不安がありました。しかし、学校からの職場実習での様子を見てくださった担任の先生から「いきいきとした表情で仕事をしているように見えた。」との言葉をいただき（児童デイで週1回通っていたことも大きかったと思います）進路先をチャイブにお願いしました。

「きらり」での一義の主な仕事は、施設内の掃除、施設で使われているおもちゃの消毒です。あと、会社や病院、個人宅のお庭、公園などの草取り、落ち葉清掃などに出向しているようです。先日懇談会があり、様子を伺うことができました。お客様の出入りが多い時は、やはり落ち着きがなくなることがあるようです。ただ、そういった時は落ち着ける場所を作っていたらいい、自分から入っていくそうです。以前から、力の加減が難しく課題にしているのですが、掃除道具の扱いも上手になってきている



《トイレ清掃中の様子》

ようです。出向先では、一義の力強さが役に立っているようで、公園に入っていた他の業者さんから「うちに欲しいな～」と言っていたというエピソードも伺いました。

家の方では、12年間続いた学生生活が終わり、長期休みや楽しみにしていた季節ごとの行事がなくなり、同じことを何度も確認してくるようになりました。なるべくカレンダーやホワイトボードを利用し、一義にわかりやすいように



しています。ただ、チャイブやかしの木会での楽しい行事もこの1年で経験し、2年目になっていくと少しずつ

つおさまってくるのではないかと考えています。

私自身、親として後悔することも多い子育てでしたが、ひとつだけ大切にしてきたことがあります。それは一義に関わってくださる方との連携です。幸せなことにたくさんの親身になってくださる先生方に恵まれ、一義のことを一緒に考え、育てていただきました。それが今の一義に繋がっています。ただ、学校を卒業したことで私自身ひと段落した気もちになり、そのことを少し忘れていたかもしれません。これからもスタッフの方々に一義の状況を伺いながら、家庭でもできることを取り入れていき、充実した楽しい人生を送らせてやれるよう、親として努めて行きたいと思います。

チャイブ 浅野 雪香

一義さんとの1年を振り返って、真っ先に思い出す行事があります。それは、9月に木曾川高校で行われた演奏会です。体育館に入室し楽器を見ると、一義さんは走って一番前の席に座りました。演奏が始まると音楽に合わせて身体を大きく揺すったり、飛び跳ねる楽しそうな様子が印象的でした。僕の手を取って笑顔で踊る一義さんは、日中活動では見せない顔を見せてくれました。

日中活動では、まだまだ配慮が行き届かない環境の中で仕事を一生懸命行う一義さん。汗をかきながら草取りや屋内の清掃をする姿に 僕らがやる気もらっています。今後は、より一義さんが自分らしく過ごしやすい環境を、ご本人の気持ちやご家庭との連携を大切にしながら、目指していきたいと思います。

スタッフ 北原康裕さんからのコメント

かしの木の会コーナー④

成人式を迎えて

平成26年1月19日(日)小牧コミュニティホールにおいて、愛知県立一宮東養護学校の平成23年度卒業生の「はたちを祝う会」が行われました。

校長先生をはじめとするたくさんの先生方と家族も出席し、総勢100名を超える盛大な「祝う会」となりました。

お世話になった先生方とは、近況を報告したり写真を撮ったりしました。卒業式以来、久しぶりに会った友達もたくさんいてとても楽しい時間でした。



「二十歳になって」

二十歳の記念に振袖の写真を残そうと振袖を見にいき、自分で振袖を選ばせました。着付けの時に、化粧をしてもらい、髪もセットしてもらおうといつもと全然違う自分に、ちょっと化粧に興味を持ったようでした。着物が着られたのは、嬉しかったようですが、苦しかったようで写真を写してしまうとウンザリのような感じでした。

娘は、ステップの就労移行をへて昨年



5月より一般就労することができました。おこづかいや、移動支援を利用することを励みにして毎日働いています。もうすぐ、1年を迎えますがこのまま休むことなく毎日元気に通勤してほしいと思います。

一般就労 山田汐理・母

「二十歳になって」

二十歳になり、祝福の言葉を頂く度に大人になった実感がわいてきたのでしょうか・・・、娘なりに「大人」ということを意識し始めているようで、お手伝いをして褒められた時「おとな」と、嬉しそうに言っています。



一宮東養護学校卒業生の新成人の集い

「はたちを祝う会」に出席の日もちょっぴりオシャレをしてみると、「おとな」と嬉しそうにしていました。

チャイブのおやまのカフェで働き始めて二年目、心身共に強くなり毎日を楽しく過ごしています。

チャイブ 松浦葵・母

「二十歳になって」

新成人となり、チャイブでのお仕事を、今まで以上に頑張ります。(^^)v
月一回の習い事、ダンスと太鼓も楽しいです!!



チャイブ 伊藤ひとみ・母

掲示板

かしの木交流会

平成26年1月25日(土)午後6時より尾西グリーンプラザで、一宮市議会議員さんや行政の方を招いて、かしの木交流会を行いました。この行事は、榿の木福祉会が発足した昭和56年から始まりました。

その頃は、法人役員7名、職員10名、保護者5名ほどの榿の木関係者に、尾西市長さんや社会福祉協議会長さん等を招いて食事会を行っていました。

今から思えばとてもこじんまりとした会食会でした。

現在のこの会は、ご来賓の方をはじめ、法人役員、職員、保護者合わせて100名を越える大世帯になりました。テーマは「交流会に参加して、色々な立場の人と話し合おう」ということで、まずは初対面の人も名刺交換をして、交流を深めました。

日頃、会う機会も少ない方々と話す事ができて有意義な時間を過ごすことが出来たのではないかと思います。

そして、アトラクションはDVDによる榿の木の事業



紹介を行いました。今年度は、「グループホーム さつきの家・かえでの家」と「榿の木園」でした。来客の中には、他の法人職員さんもみえて、会話の方も、食事の方も皆さんが手をとめて、スクリーンに目をうつしてご覧になってみえました。

最後に、これからのこの地域福祉の充実と、榿の木福祉会の発展を祈っての一本締めで幕を閉じました。参加された皆さんの表情は、とてもいい笑顔でした。

来年は、どのようなアトラクションがあるか楽しみです。

只井

良き家庭を作る「思いやり」について

桂小金治著「江戸っ子の教訓」より

落語家の桂小金治さんにこんなエピソードがあります。小金治さんが幼い時の話です。

「欲しいものがあったら、自分で作れ。自分で作れないものは諦める。」

子金治さんの父親は、子供におもちゃを買い与えない流儀だった。ある時小金治さんが友達の家でハーモニカを借りて吹いたところ、上手く吹けた。帰って父にハーモニカをねだった。

「いい音なら、これで出せ。」

父はそう言って、神棚のサカキの葉を唇に当てて『故郷』を吹いた。

「俺も吹けるんだから、お前も吹けるからやれ。」小金治さんは練習してみた。けれども、難しくて鳴らない。3日でやめてしまった。

「だって、鳴らないんだもん。」

「一念発起は誰でもする。取りあえずの実行もする。努力までなら皆するんだよ。だけど、そこでやめたら、“どんぐりの背比べ”で終わりのな。そこから一步抜きんでる為には、努力の上の辛抱という棒を立てる。この棒に花が咲くんだよ。辛抱できないやつは、意気地なしだ。やるからには続けろ、続けなきゃ答えは出ないぞ。」

悔しくて練習した。ピーと鳴った。そのままメロディーを吹いたら、これも上手くいった。うれしくて飛んで帰った。

「父ちゃん、草笛が吹けるようになったよ。」

「偉そうな顔をするな。何か一つの事が出来るようになった時には、自分一人の手柄だと思ふなよ。世間の皆さんのお力添えだと感謝しなくちゃいけない。」

その日の夜、床に入って翌朝目が覚めたら、枕元に何か置いてある。包みを開いたら、何とハーモニカが出てきた。父親のところに飛んで行って尋ねた。

「父ちゃん、買ってくれたの？」

「努力の上の辛抱の棒を立てたんだ。花が咲くのは当たり前だよ。」

嬉しくて母親のところへも行った。母はニコニコしながら言った。

「3日も前から買ってあったんだよ。父ちゃん言っていたよ。あの子はきっと吹けるようになるよ、って。」

文芸コーナー

「夫は犬 だと思えばいい。」

花まる学習会・代表 高濱正伸著



犬を飼っている方はよくご存じでしょうが、愛犬の特徴をあげてみてください。

- ① ご飯が大事
- ② ごろごろしているのが好き
- ③ (散歩など)好きなことができないとぎゃんぎゃん吠える
- ④ ほめてもらうのが好き (意外とプライドが高い)
- ⑤ 飼い主に従順 (好きな飼い主のためなら体を張ってでも守ろうとする)

そして当然ですが、こんなことは苦手ではありませんか？

- ① 飼い主の話に相づちを打つこと
- ② 飼い主の話を実際に聞くこと
- ③ 片付け
- ④ 家庭生活上の細かい段取りを覚えること

あら？愛犬の特徴をあげていただけなのに、なんだか身近な人の特徴に似ていませんか？
そう、夫の特徴にそっくりです！

著者は、学習塾の代表をされていて、「子供が伸びるためには、家庭での夫婦関係が円満であることが大事。夫婦が変われば、子供は伸びる」をモットーに講演活動にも力を入れてみえます。「子供を伸ばすためには、夫婦間で意思の疎通が必要だが、話がかみ合わないことが多い。異性は全く違う生き物と痛感するところがスタート地点。」こう、きっぱり仰る。さらに続けて「同じ人間だと思っから腹が立つのです。愛犬だと思って愛情を注ぎ、意識改革をすると楽になり、子育ても好転する」

「なるほどなあ。」と思いました。夫のことを犬と思うのは、極論かもしれませんが、「夫があれもしてくれない、これもしてくれない」と不満を募らせ生きていくより見方を変えて「違う生き物なのだからしょうがない」と意識を変えると私は、とても楽になりました。穏やかに日々を過ごせるようになると子供にも夫にも優しくなれた気がいたします。

本著の中では、夫側に「妻を〇〇と思いなさい」という提案もなされています。さあ、その提案に夫は納得するのでしょうか？その結果も夫の特徴が出ていて興味深いです。

ぜひ、ご一読下さい。

広報委員

お知らせコーナー

かしの木の会 総会

日時・・4月19日(土) 10:00~

場所・・一宮市尾西庁舎生涯学習センター
6F 大ホール

【行事予定 4月~6月】

ふれあいバザー (小雨決行)

日時・・5月11日(日) 10:00~

場所・・榎の木作業所

かしの木運動会

日時・・5月25日(日) 10:00~

場所・・富田山グランド

喫茶 らちえっと



ランチ 始めます



4月22日(予定) から
ランチが 始まります。

お楽しみに!

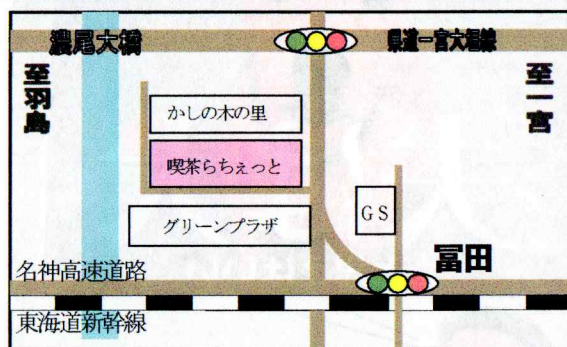
※4月1日(火) から、営業時間
定休日が変更になりました。



TEL (0586)63-2111

営業時間 : 8:30 ~ 16:00

一宮市富田字砂原 2147 番地 定休日 : 毎週 日・月曜日



地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木の会 事務局	〒494-0018 愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel 0586-63-2111
	かしの木の里内	Fax 0586-61-1200
榎の木福祉会 (法人代表)	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200
☆榎の木作業所・どんぐり	一宮市富田字漆畑 16 番地	Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514
☆榎の木園	一宮市富田字若宮 17 番地	Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253
☆ステップ	一宮市明地字上平35番地の1	Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241
☆かしの木の里	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-63-3270/61-1200
☆かしの木サポートプラザ	一宮市北丹町 2 番地	Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188
☆らちえっと	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-62-6117/61-1200
☆喫茶・らちえっと	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-62-6135/61-1200
☆カフェふらっと	一宮市萩原町串作字女郎花 1617 番地 8	Tel 0586-67-5070
☆園芸センターさいた	一宮市西五城字山方21-1	Tel/Fax 0586-62-0039
☆わがんせ	一宮市祐久字九百坪 204	Tel/Fax 0586-68-2700/68-1250
☆相談支援ゆんたく	一宮市大和町馬引字引郷裏 42	Tel/Fax 0586-64-5882/64-5852
☆就業・生活支援すろーぷ	同上	Tel/Fax 0586-85-8619/64-5852
☆療育サポートプラザチャイブ	一宮市北丹町 2 番地	Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188
☆居宅介護事業所 きーぷ	一宮市富田字砂原 2147 番地	Tel/Fax 0586-63-2122/61-1200
☆G. H. C はぎわら	一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3	Tel 0586-67-1787
☆G. H. C びさい	一宮市祐久字九百坪97	Tel 0586-68-6505
☆G. H. C やまと	一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3	Tel 0586-67-1787